



西南学院大学・

## 図書館報

No. 4 1

1969年1月16日発行

福岡市西新町  
西南学院大学図書館

## 新図書館の進路

図書館長 坂本重武

図書館の新築が落成してからまだあまり時日がたっていないので、整備すべき点はいろいろ残っているが、ともかく、その利用が順調に進んでいることは大変結構なことである。すくなくとも、昨年11月の新館入館者数は、一昨年同期の2倍になっている。新しい企画である学習室も期待した以上に活用されているように思われる。この際、新図書館に関して私の二・三の希望を述べて見たいと思う。

新図書館は当分の間4階までを利用することにして、5階はまだ内装がしてないが、実際に図書を配列して見ると、4階までではあまり余裕もないことがわかった。それに、国連寄託図書館、法学部から希望が出ている判例センター、その他の専門研究施設などのためにもその場所が必要であることが明らかになってきた。こう考えてくると、5階の使用計画を早急にはじめなければならないと思うのである。

次に、大学図書館界における最近の問題は専門職としての司書に関してである。いうところは、大学図書館には専門職の司書がいなければならない。すくなくとも、大学、できれば修士課程を終えた司書を必要とするということである。私たちの館でも、専門図書特に外国図書の整理、資料センター充実のための各種資料の収集整理、また国連寄託図書の整理等、司書の仕事は次第に専門化・複雑化していることを考えると、専門職としての司書の必要性が痛切に感じられるのである。できるだけ早くこの方面の人材充実のために

も手を打っておかなければならないと思う。

第3に、学生諸君の間に図書館研究会、もしくは図書館同好会といった組織ができることを希望する。このことは前から考慮していたことであったが、こんど新館開館に伴って開催した図書館利用学生の懇談会の席上でも出席者のなかからそういう希望が出たのである。高等学校には、生徒の図書委員がいて、図書室の世話をしているところが多いが、本学でも上記のような学生の組織ができて、図書館学の研究をしたり、図書館の職員の指導を受けて実務を修得したりすることになれば、非常に好都合ではないかと思っている。

## 告知板

○試験期の開館時間延長 後期試験のため、来たる1月21日(火)から試験終了前日(2月19日)まで次のとおり開館時間を延長します。

学習室 午前8時30分から午後9時まで

なお開架閲覧室は平常どおり、午前9時から午後6時までです。

○春休長期貸出 2月14日(金)から春休長期貸出を行ないます。冊数は3冊以内、返却期限は卒業予定者は2月28日(金)まで、それ以外の人は4月23日(水)までです。

○2月21日(金)～4月16日(水)

開館時間 9:00～17:00

ただし、2月26・27日(水・木)入学試験・閉館

3月13日(木)～19日(木)在庫調査・

開架閲覧室閉室

## 図書館利用者との

## 懇談会

出席者(申込順)

(図書館側)



商4 鶴川三郎



商2 吉村 建



経3 林田伸一



文4 松石玲子



文4 白石幸子



商2 国武一子



商4 柴山信彦



商4 石川 弘



経4 宇山正孝



文4 幸サヨ子



文4 梅野靖子



館長 坂本重武



司書長 山下和夫



司書 杉本善夫



司書 伊藤治生

と き 43. 12. 13 ところ 図書館会議室

坂本 新図書館が開館されて約1カ月を経過しましたが、本日は皆さんにお集りいただき、この新図書館の利用について懇談の機会を持つこととしたわけです。11月の利用統計をみてみますと、昨年の約8,000人にくらべ今年は約16,000人と2倍位に増えています。

これはやはり学生諸君に、それだけ多く勉学の機会を与えているものだと言っています。この新図書館は、施設や利用方法において以前とだいぶ変わってきているようですので、実際にはいろいろと不便なところもあるのではないかと思います。ご希望やご意見などありましたら、どうかきいたんくのべてください。

山下 私が司会の役をさせていただきますが、新館の施設、備品、利用手続、開館時間など旧図書館のそれとくらべながら、話を進めていきたいと思えます。先ず施設の点ではどうでしょうか。新館では学生の自学自習の場として携帯品を持ったまま自由に入れる学習室を設けてみましたか……。

A 携帯品を持ったまま入れるということは意義があると思います。時間の節約だけでなく、気分的にも楽な感じですね。

B 学習室から便所に行ったり、カタログを見に行く時に、一々外出の扱いをするのは不便に感じます。

C 学習室には学生証を見せずに入れるようにはならないでしょうか。

坂本 この学習室は新しい試みで、図書館としてもい

ろいろ検討した結果、平穩に管理するにはやはり学生証を提示してもらった方がよいと思われますし、このことは他校の学生の入室の防止にもなります。学習室の規律を維持するためと利用者の数を知るためにも、しばらく現在の手続を続けていきたいと思っています。

D 開架閲覧室を利用するときのロッカーの鍵は、なぜ預けるようにされたのでしょうか。

坂本 これには理由があるわけです。あなたの方のように真面目な人ばかりならよいのですが、本を無断で持って出る人があるものですからそれを防ぐために預かっているわけです。

山下 私たちもこの鍵を預かるということについては、いろいろと考えたのですが、最近紛失図書の数が増加の傾向にありますので、その防止のために面倒な手続をお願いしているわけで、館員もこのために2倍の手間がかかっているわけです。なおよく研究してみますが、しばらくご辛抱いただきたいと思っています。

E ロッカーの場所ですが、先にロッカーに入れて、それから受付に行くようにしたら、解決するのではないですか。

坂本 これも考えたわけですが、ロッカーを図書館利用のためでなく、私用に使うことが考えられます。

山下 それに、鍵の紛失ということも考えておかねばなりません。

F 全学生用のロッカーを学内のどこかに作ってもらえば一番いいのですが……(笑)。(次頁へ)



(前頁より)

G 私はなによりも、みんなの図書館という意識、そういう雰囲気を作っていくことが必要ではないかと思います。何かよい標語でも作られたらどうでしょうか。

坂本 そのような雰囲気はぜひ必要ですね。

A 館内では学習室が一番静かですね。

B 学習室に職員が一人いるのが静かなせいでろうと思います。各室にやはり職員がいるのが一番いいと思います。

坂本 確かにそうですが、しかし、現在では館員の数が少ないものですから、各室に館員を配置することは困難ですね。

H 学生の中に図書館研究会といったようなクラブ組織を作って協力をさせるようにされてはいかがですか。

山下 そうですね。たとえば、L・L・研究会のようなものですか。利用者とよく接触していくために、何かいい方法をとっていたところですので、私どもでもよく研究してみます。

I 新館になって、アサヒグラフの月おくれ号が雑誌棚に見えなくなりましたがどこに行ったのでしょうか。

伊藤 アサヒグラフなどの大型の雑誌は普通の雑誌架に入らないものですから最新号のみを閲覧室に出しています。係員に申し出られますとすぐに取り出しにくのですが、やはり不便でしょうから、少し古いものも閲覧室におくことにしたいと思います。

J 3階の閲覧室に英文学関係の図書が商経法の図書と一緒に置いてあるのは何か理由があるのでしょうか。

坂本 別に理由はありません。専門課目の図書としてまとめているということと、大きな部屋の方が管理がしやすいという面があるからです。

山下 個人用の机と椅子についてはいかがですか。

K あれはいいですね。他との関係が遮断されるので落ちついて本が読めます。

山下 施設や備品については大体好評のようですが、開館時間などについてはいかがでしょうか。

E 私は運動部にいた関係でサークル活動で時間がないので9時頃まで開館してほしいと思います。練習が終るのが7時頃になりますのであまり利用ができないのです。

坂本 利用者が相当あればの話ですが、やはりこれも人と金の問題のようですね。

山下 なお研究していきたいと思います。ずっと以前、9時まで開館していた時代がありましたが、夜間の利用者が大変少ないことと、図書館の人員が足りなくなり仕事が忙しくなったことなどのために、短縮してしまったわけです。

A 冬の暖房ですが、閉館時間まで十分に入っていない

ことがあって寒いのです。

山下 そうですか。ボイラーの方とよく打合わせてみましょう。次に図書の問題についてはいかがですか。2階に教養関係および雑誌を、3階に専門関係の図書をおいていますが。

D 新刊書のおき場所がわかりにくいのではないのでしょうか。学習室に入らない学生にはわからないようです。

A 私は2階と3階の図書は入れかえてもらった方が利用によかったと思うんですが。

坂本 私は2階を将来は指定図書室にしたいという考えを持っており、3階以上を卒論などを書くような人のための専門的な閲覧室にしたいと思っている。この場には、低学年の人が少ないようですが、1・2年の学生がもっと図書館を利用してほしいと思いますね。

B 夕方5時頃職員が大勢で本を配架される時ぎわがわるように思います。

山下 そうですか。よく注意するようにいたします。

D 閉架図書とはどんなものですか。

山下 主として教授用の専門図書です。

D 閉架図書の中を案内して見せてもらうといったようなことはできないのでしょうか。

坂本 閉架図書にあるもので、全集ものなどは1冊でも紛失すれば大変困るようなものもあります。ご希望があれば出納式で利用はできるわけですがね。ある時期に閉架室の中を公開して見てもらうというようにすることも考えてみましょう。

この図書館で使いにくくなっている面があるとなれば、それは主として図書の紛失防止対策のためのようです。本当は全館オープンにするのが理想ですが。

F 図書館研究会といったようなものができてお手伝いなどすれば、日曜日でも学習室を開くということとはできないでしょうか。

坂本 礼拝の時間を除いて図書館を開いているところもあるようですが、現状では日曜開館はまだ無理のようです。

山下 最後にサービス面について、図書館報による広報とか複写サービスさらに視聴覚機材の貸出などについてはいかがですか。

A 複写料金が高すぎるように思いますが。図書の紛失防止対策にもなると思いますし、図書館で出血サービスをしてもらえるとよろしいのですが。

山下 ご意見は大変よく分ります。ただ現在の1枚25円は全くの実費でして、現状ではやむをえないようです。それでは、時間もだいぶ経過しましたので、これで今日の懇談会を終りたいと思います。本日は皆さん方よりいろいろと貴重なご意見をいただき有難うございました。今後の運営の参考として十分考えていきたいと思っています。(記録 伊藤)

## ■ ニュース

## ＜新図書館献堂式＞

43. 11. 15 (金) 午前11時より新装なった図書館1階学習室において献堂式が挙行された。当日は好天気に恵まれたうえ、近隣の大学長、図書館長、高校長、同窓生など多数の参加者を得て極めて盛会であった。

## 式 次 第

- |                     |      |           |
|---------------------|------|-----------|
| 司式                  | 事務局長 | 中 村 保 三   |
| 1. 奏 楽              |      | 古 沢 嘉 生   |
| 1. 讃美歌 4番(よろずのくにびと) | 一    | 同         |
| 1. 聖書朗読・祈禱          | 宗教局長 | 三 善 敏 夫   |
| 1. 式 辞              | 学 長  | 古 賀 武 夫   |
| 1. 経過報告             | 図書館長 | 坂 本 重 武   |
| 1. 献堂説教・祈禱          | 院 長  | E・B・ドージャー |
| 1. 讃美歌 234番(昔主イエスの) | 一    | 同         |
| 1. 感謝の辞             | 院 長  | E・B・ドージャー |

大部設計事務所長に対して  
株式会社辻組社長に対して  
株式会社寿商店社長に対して

1. 祝 辞 日本私立大学連盟  
私立大学図書館協会  
九州地区大学代表  
日本バプテスト連盟
1. 校 歌 一 同
1. 祝 禱 宗教局長 三 善 敏 夫  
(なお12時30分より第5会議室において昼餐会が行なわれ、歓談の時がもたれた。)

## ＜図書館委員会＞

43. 12. 12 (審議事項) 名誉教授の図書館利用・短大分館の廃止・司書長の委員会出席に関する規則改正について。

専門的研究に対するサービス向上措置について。  
教授閲覧室の利用について。

## 卒業後の利用手続

本学卒業生は、一定の手続きを経て、図書館を利用することができます。次の手続きに従って研究・調査・教養向上などに大いに利用してください。

- ① 利用希望者は、特別利用者規則の定めるところに従って、次に掲げるものを提出しなければなりません。  
特別利用許可願1通、卒業証明書または勤務先証明書その他本人の身分を証明するに足る書類1通  
上半身名刺型写真1葉、その他館長の必要と認める書類、手続料金 1ヵ月間 100円
- ② 手続を完了した者には特別利用者証が交付されます。
- ③ その他は学生利用規則が準用されますから、在学中の手続きと変わりません。

## ＜研修・出張＞

私大西地区部会 43. 11. 9 (於梅花女子大学)

※ドイツの出版制度について、その他の研究発表がなされた。杉本係長出席。

福岡県大学図書館協議会

43. 11. 26、43. 12. 16 (於九州大学教養部)

※大学図書館の業務分析について、研究。山下司書長出席。

## ＜規則改正＞

- ①短大分館の廃止にともない、諸規則中短大分館の部分を削除。  
②名誉教授は大学教員と同様の利用ができるよう規定化。  
③司書長の委員会出席発言を明文化。

## ＜人事異動＞

43. 11. 1 付 栗林文子 (児童教育科より大学図書館へ)

43. 11. 15付 箱田和子 (学術研究所より大学図書館へ)

## ■ 福岡県大学図書館協議会の開催本館で

きたる2月21日(金)午前10時より第2号館第5会議室において福岡県大学図書館協議会の研究総会が開催されることとなった。県内の大学図書館関係者によるこの一年間の研究成果が報告される。

## ■ 新規購入雑誌

44年1月から次の雑誌が新たに購入されることとなった。

- |                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| 受験新報 (月)                       | 新聞月報 (月)  |
| 文 法 (月)                        | アジア研究 (季) |
| 世界経済と国際関係 (季)                  |           |
| Annals of Mathematics          | (B-M)     |
| Earth Science Review           | (Q)       |
| Diogene                        | (Q)       |
| Geological Abstract            | (6 nos.)  |
| Historical Journal (Cambridge) | (3 nos.)  |
| Past and Present               | (3 nos.)  |
| Speculum                       | (Q)       |

## ■ 寄贈図書

- 竜谷大学より 教行信証 (新館完成記念として)
- 西日本新聞社より 明治百年 (同上)
- 石川鉄弥教授より 混合液粘度の理論 (同上)
- 京都大学より 京都大学七十年史
- 中原千勝教授より 新版会計学一般理論  
他1冊
- 木村毅教授より 吉田松陰の思想と生涯
- 古賀武夫学長より ラートブルフ著作集  
他3冊
- 古賀昭典講師より 現代社会保障法論